



光の輝きと、音の響きが、コラボレーション！ 神秘的なひとときに、お客さまが酔いしれた4日間。

クリスマス本番に先駆けて、去る12月14日(木)～17日(日)の4日間に渡り、ヒルトンプラザ ではたくさんのユニークな楽器によるクリスマスコンサートを開催、多くのお客さま楽しんでいただきました。

20周年を迎えた記念イヤーの12月。ヒルトンプラザは、ウエスト1Fに出現した巨大クリスマスツリーをはじめ、イルミネーションに彩られた神秘的な空間へと様変わり。

こうした光の装飾を背景に、コンサートはイースト1Fアトリウム、ウエスト1F特設ステージを舞台に開催され、光と音が織りなすファンタジックでハートウォームなライブでお客さまを魅了しました。

ゴスペルのコーラスから電子楽器の演奏まで、コンサートプログラムは、ジャンルを超えて、バラエティ豊かに。

今回のコンサートの醍醐味は、プログラムの多彩さと、ライブではなかなか体験できない稀少な楽器によるクリスマスナンバーの演奏が繰り広げられたこと。

世界最古の電子楽器「テルミン」、電波楽器「オンド・マルトノ」の演奏や、バッハの時代の古楽器「チェンバロ」と「バロックオーボエ」の共演では、楽器そのものや演奏のパフォーマンスにもお客さまから熱い視線がそそがれました。

また、ガラス製の「クリスタルフルート」とギターのアンスンブルや、ワイングラスで音階を作って演奏する「グラスハープ」のステージは、優美な音色とともに目にも楽しいライブに…

さらに、シンセサイザーと和太鼓を折り込んだ「エレキ三味線」や「ゴスペル」コンサートでは、迫力あるロックな音色、力強いコーラスが吹き抜け空間にこだまし、お客さまのハートに響きました。

心が和む、心が弾む。さまざまなお客さまが、それぞれの楽しみ方でライブを満喫。

4日連続、1日4回の充実した展開となった今回のクリスマスコンサート。

ウィークデーは、会社帰りのビジネスマンやエグゼクティブが心癒されるひとときを楽しみ、ウィークエンドや休日は、ご来店されたお客さまがお買物の合間に、ヒルトンプラザからの素敵な贈り物にほっと一息、クリスマス気分を堪能されました。



イースト1Fアトリウムのステージには客席も設けられ、さまざまな楽器やアーティストが競演。お客さまは五感でライブをエンジョイ！

コンサートステージにもツリーやイルミネーションの演出が。光の中で奏でられたクリスマスナンバーはロマンティックムード満点。



写真左、約5万個のイルミネーションが輝くラグジュアリーな館内。とりわけイーストのアトリウム空間は、上層階まで続くキラメキが圧巻！
写真右、ウエスト・エントランスにそびえる高さ24mのツリー。LEDならではの美しいブルーと白の光が、行き交う人々の視線を釘付けに。